

Q 花園ⅠC拠点整備プロジェクトの各協議の進捗は

A 各協議を進めているところである

佐久間 奈々

Q 農振除外本申請の用途は5月末だったが、どうなっているのか。また、3月議会で農林調整の協議の場合、県と国に移ったとの説明を受けたが、その後どうなっているのか。

A 丁寧な説明をしていく。

Q 3月末時点での目標であって現在、県都市計画課と調整を行っている。

A 丁寧な説明をしていく。

Q 三菱サイモンとの本契約も除外の用途、つまり用途変更も含めて開発可能になるまで行えない。あるいは、行えないということだと思うが、それで良いか。

A 慎重かつ丁寧に判断していく。

Q 住民説明会等で参加者から、もっと住民の声を聞きながら進めるべき、との意見が出る。三菱サイモンとの本契約を目指して前のめりに進めるのではなく、市民や議会に説明し、意見を聞きながら進めるべきだと思うが、どうか。

A 丁寧な説明をしていく。

Q 交通再協議が必要となり、計画が変更される場合、あるいは予算50億円を超える場合は、本契約前に市民に説明し、住民投票で民意を聞くべきでは

A 丁寧な説明をしていく。



花園ⅠC拠点整備プロジェクト予定地

Q 総合振興計画策定は市長選挙後にすべきでは

A 市長の任期に捕らわれずに策定する

村川 徳浩

Q 新井前市長の時に策定した総合振興計画を、対立候補として違う政策を掲げ立候補した小島市長はそのまま引き継いだ、何も問題はなかったのか。

A 約2千万円である。

Q 議会や審議会の審議を経て、中長期的な展望のもとで策定された計画であり、引き継ぐべき計画であると判断した。特に問題はなかった。

A さまざまな状況を考慮して、執行部としての考えを出していきたい。

Q 市長が変わった時点で総合振興計画を新しく作り変えた例はないのか。

A 新井前市長が初当選した時には、当時の社会経済情勢の変化を踏まえ新規に策定した。

Q 次期総合振興計画は、次の市長選挙直後から実施される。小島市長がそのまま市長を続けられれば何も問題はないが、市長が変わった場合は、これから策定する計画は破棄される可能性がある。リスクを回避するためには、選挙が終わって新しい市長が決まってから策定するべきではないか。

A 総合振興計画は、中長期的な展望に立ち、計画的な行政運営を行うための計画である。行政の継続性の観点から、市長の任期に捕らわれずに策定する



深谷市総合振興計画

Q 論語の里整備活用計画の内容は

A 短期・中期・長期に分けて進めている

武井 伸一

Q どのような計画でどのように進められているのか。

A 論語の里エリアにおける歴史・文化を活かした地域の活性化に取り組んでいる。これまで中の家、尾高惇忠生家の駐車場を整備し、今年度中に、渋沢栄一記念館・八基公民館の駐車場整備を行う。さらに市民協働として、ボランティア団体との連携による歴史ガイドやイベント、環境美化活動を通じて地域との交流を行っている。今後この計画を推進し、渋沢栄一翁が唱えた道徳経済合一説の精神を次世代につなげるために、渋沢栄一翁生誕の地である、論語の里における偉人顕彰の推進と地域の活性化の実現を目指し、庁内関係各課とともに各事業に取り組んでいく。

Q 自主防災組織強化の取り組みは、自主防災組織の活動内容について知りたい。市内に防災士は何人いるのか。

A 自主防災組織率は68%で、地域防災指導員2名を採用し未結成の自治会



中の家

Q B型肝炎ワクチン定期接種化への取り組みについて

A 10月接種に向け医師会との調整含め準備を進めている

中矢 寿子

Q 3歳児までにB型肝炎ウイルスに感染するとキャリア(持続感染状態)化する可能性が高いことから3歳未満の乳幼児を対象に定期接種することが望ましい。今回、国が定めた対象は0歳児とのこと。基準日はいつになるのか。また、対象から外れた1・2歳児への公費助成を考えるとどうだろうか。

A 埼玉県選挙管理委員会が指定している市内指定施設は、病院8施設、老人ホーム15施設、身体障害者支援施設1、の合計24施設である。現在、外部立会人制度の活用事例はない。

Q キャリアと診断された母親から生まれた赤ちゃんに対する対応策は。

A 母子感染予防の対象者は、健康保険の給付により出生直後投与される。深谷市は子ども医療費無料化のため、自己負担はない。

Q 市内に不在者投票指定施設はどのくらいあるのか。また、公正な選挙執行のため、外部立会人制度が創設されているが、市内にこの制度を活用している施設はあるのか。

A 市内に不在者投票指定施設はどのくらいあるのか。また、公正な選挙執行のため、外部立会人制度が創設されているが、市内にこの制度を活用している施設はあるのか。

